

- 生活支援  見守り  協議体
- 買物支援  配達  その他
- 移動支援  居場所づくり

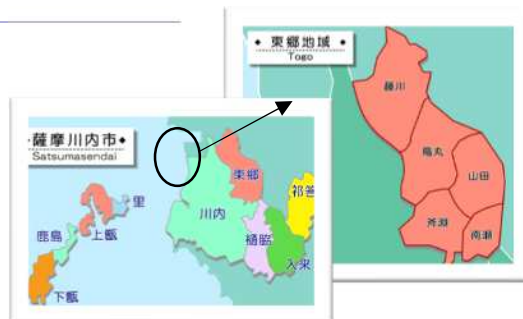
## 28 本俣自治会のささえ愛（住民主体の助け合い）

薩摩川内市 高齢・介護福祉課

### 地域の概要



薩摩川内市東郷町の藤川地区。  
阿久根市との境にある、本俣自治会。  
世帯数は17世帯、全住民で27名。  
1世帯以外は全員高齢者、70歳以上の方が70%を占めています。



### 取組のきっかけ

30年以上続く本俣のサロン「本俣かじかの会」。  
サロンを担当しているMさんが、「買い物が大変になってきた」と東郷担当の生活支援コーディネーターに相談したことがきっかけ。

### 取組の目的

- サロンの継続
- 自治会全体で支え合う
- サロンだけではないつながり
- 私たちはこれからもここで生きる
- 見守り活動
- 孤食防止
- 移動販売が集いの場



### これまでの経緯

年・月	出来事
令和3年8月	ふれあい・いきいきサロン「本俣かじかの会」を生活支援コーディネーターが訪問。
令和3年9月	東郷地域のサロン代表者が集まる会「サロン連絡会」で、「本俣かじかの会」代表Mさんから、「サロンの際に食事を提供しているが、買い物が大変になってきた、サロンが継続できない」と相談を受けた。
令和3年10月～12月	・生活支援コーディネーターが毎月サロンに参加し、参加者から話を伺い現状把握。
	・生活支援コーディネーターから、サロン代表者のMさんが相談した内容について、本俣自治会長兼民生委員のTさん、健やか支援アドバイザーのRさんへ相談（TさんとRさんは夫婦）。
令和4年1月～	サロン代表者Mさんの悩みであった、買い物は、参加者でもあるRさんが担うようになり、サロン代表は、そのままMさんが継続することとなった。 月1回のサロンは役割を分担し継続することになった。

### 活動の概要



→ ●自治会副会長のNさんが自治会の配布物の配布が困難。運転ができるRさんが配布を手伝い。



- ↑役割を分けながら、サロンの継続
- 買い物 → Rさん（運転可）
  - 調理 → Nさん（そのまま）
  - サロン代表 → Mさん（そのまま）
- 活動は、脳トレ、おしゃべりや食事。  
みんなで役割分担をしながら工夫して

お付き合い歴30年以上  
平均年齢♡85歳♡  
最高年齢♡94歳♡

サロン以外でも、  
強くつながり助け合う



← ●年2回の清掃作業。本俣自治会長Tさんは、作業の1か月前に本俣自治会出身者に協力を求める手紙を送付。毎年多くの出身者が地元が集まり、地元住民と出身者との交流の場となっている。



↑ ●『結いの郷 ふれあい館』出身者が帰省した際の集いの場。故郷である本俣と出身者をつなぐ。

← ●炭窯を作り、炭焼きを数年ぶりに開催！

### 取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- 2層SCと情報共有
- 本俣の活動について広報

〔SCとしての役割〕

- サロン代表者との連携
- 本俣自治会の方のつながりを発見、意識化、見える化、見せる化、共有
- サロンの調整



担当SC：Y

### 現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

- 見守り・見守られ
- 孤食防止
- 役割を持ち、生きがい活動となっている
- 介護予防
- 助け合い

〔課題〕

現時点で、60代世帯が本俣自治会を支えているが、5年10年後は人口減少や高齢化により現状を維持できない。